

福知山地車ユニオン

4月9日ユニオン各機関役員に期待 役員基礎コース開催 17名が参加



古川教育部長

4月9日市民交流プラザふくちやまにおいて、感染防止対策を行いながら、地本ユニオンスクール「役員基礎コース」を開催し、各機関から17名の役員が受講しました。

受講内容は、開講式に始まり古川教育部長の講義、尾崎書記長の世話役活動と安全についての講義、野垣執行委員長の特講講義の順に学習しました。内容は以下の通りです。

- (講義 新しい生活様式)**
- 生活や働き方、家族のあり方、地域生活等の劇的な変化に対応する労働運動の重要性
 - オンライン型での課題
 - 会社や組合の支援制度の周知
 - 学習会や集会等教育活動の進め方やグループディスカッションの方法
 - 前年踏襲ではなく必要なものは考え、状況の判断が必要
 - ディスカッションは対面を防ぐ
- (JR西労組運動)**
- 結成以来「対立と協力」「力と政策」「企画提案運動」をモットーに運動を展開している
 - 職場を越えて多くの人と仲間になれる
 - 賃金・労働条件・休日など勝ち取った成果がある
 - 労働組合と会社の関係



尾崎書記長

- (実践世話役活動)**
- ケーススタディ「こんな時どうするの？」
- (安全)**
- 福知山線列車脱線事故のDVD視聴
 - ※事故当時の状況を知る組合員の体験談も聞きました。



野垣執行委員長

- (特別講義)労働組合の役割**
- 春闘について
- 2022春闘はコロナ禍で厳しい経営状況下、会社存続に向け、あらゆる施策に対し協力

お知らせ

**ユニオンスクール
リーダー養成コース**

日...5月14日(土)
時...13:00~
所...市民交流プラザ
ふくちやま



グループで制度を探しながらディスカッションする様子

をしてきた。コロナ禍でも、働きの価値と存在は変わらない。働きの価値に見合った賃金を求める必要があった。人への投資により離職者や不安感を無くす必要がある。今回1・34箇所+50,000円と微増の結果。妥結を引き延ばすことで不安感が増す事を避ける為に、妥結の実施した。

役員に対して
役員をやる事で、相手の意見に耳を傾け、自分の思いも伝え、お互いが尊重しながら結論を導くというプロセス「対話」を学ぶことができ、自分の成長にも繋がります。自分にもなる。楽しく活動してもらいたい。



ご参加ありがとうございました。

発表の様子

「みつけました！」

業務活動について
施策について、意見を集約して議論を行っていくことが重要。

福祉活動について
世話役活動が重要。コロナ禍でニーズが高まっている。これ以上以上に小さな意見にもしっかりと耳を傾けていく必要がある。